

文部科学省「脳科学研究戦略推進プログラム」

## 第2回公開シンポジウム

# 「生命科学から総合的人間科学へ向かう脳研究」

平成22年2月5日 13:00～16:15 よみうりホール(東京)



アンケート調査報告

# 【調査要領】

## 1. 調査目的

「脳科学研究戦略推進プログラム」第2回公開シンポジウム『生命科学から総合的人間科学へ向かう脳研究』に対する参加者の印象や評価を調査し、今後のシンポジウム開催の参考とするため。

## 2. アンケート対象者

シンポジウム参加者551名にアンケートを配布、うち209名から回答をいただいた。

# 【アンケート結果】

## 1. 講演の内容は分かりやすかったですか？(5段階評価)

非常に分かりにくい					非常に分かりやすい
1	2	3	4	5	
<hr/>					
2人	17人	18人	83人	<b>89人</b>	

## 2. 講演の内容は面白かったですか？(5段階評価)

全く面白くなかった					非常に面白い
1	2	3	4	5	
<hr/>					
5人	15人	14人	69人	<b>106人</b>	

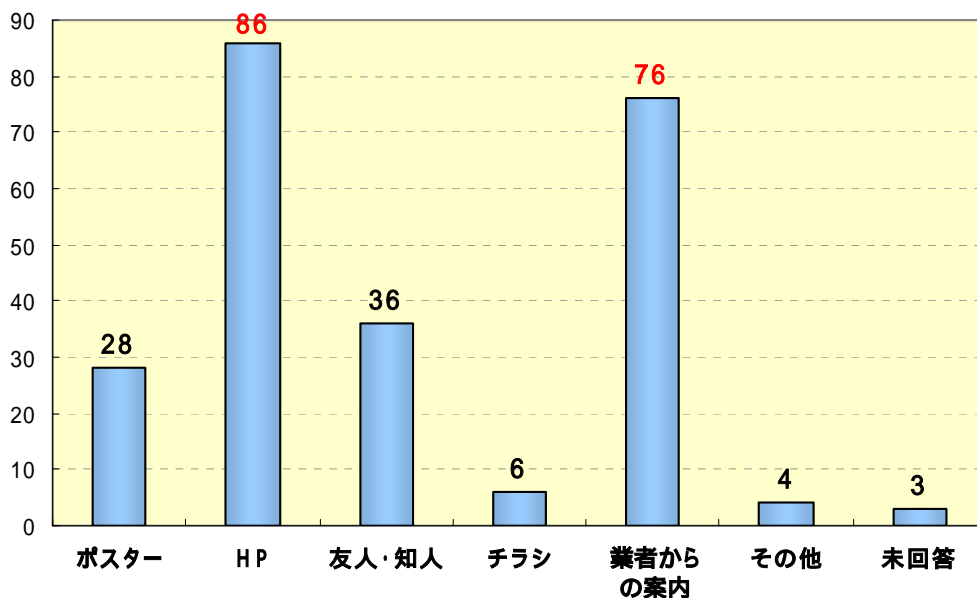
## 3. シンポジウムに参加された動機は？(複数回答可)

項目	人数	比率
科学全般に興味がある	85名	21%
<b>脳に興味がある</b>	<b>159名</b>	<b>40%</b>
プログラムに興味深かった	56名	14%
講演者に関心があるため	34名	8%
知人に誘われて	18名	4%
仕事に活かすため	44名	11%
その他	8名	2%

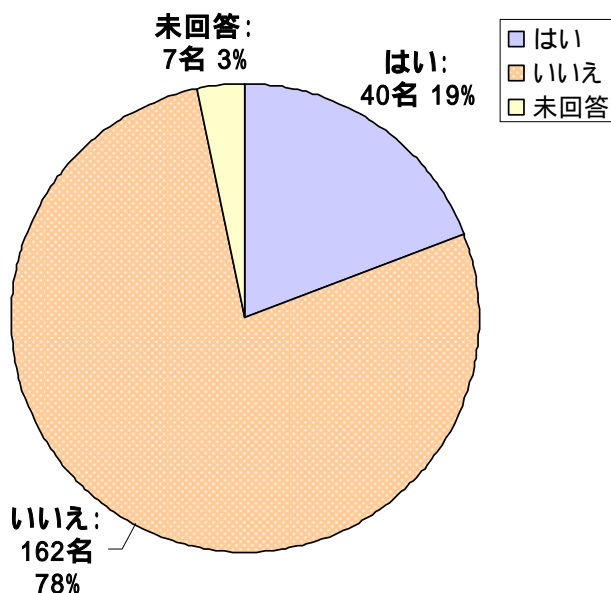
「その他」の回答：

- ・子供の病気の理解のため。
- ・生物の進化と脳の発生という観点から。
- ・リハビリの意味を知るため。
- ・生体の信号に興味がありました。
- ・難病対策に関心がある。
- ・統合失調症の家族がいるため。
- ・講演者の先生に先日お世話になった。

4. 本シンポジウムをどちらでお知りになりましたか？(複数回答可)



5. 昨年の第1回シンポジウム「脳科学の最先端 - BMIと新しいモデル動物」にも参加されていますか？



6. 今後、どのような内容の講演を聞いてみたいですか？(複数回答可)

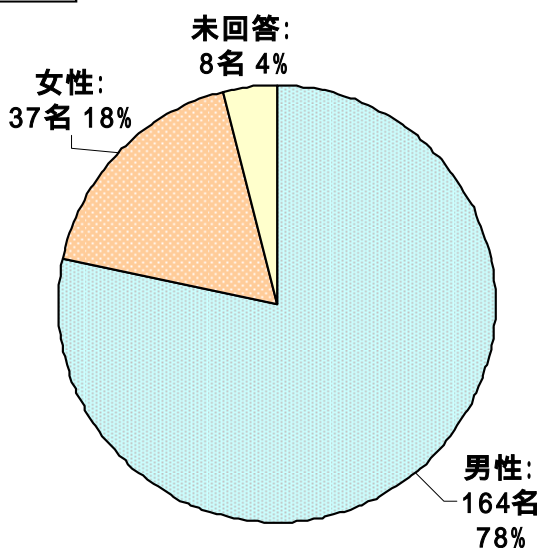
項目	人数	比率
脳の仕組みや働きについて	116名	24%
脳に関わる病気の治療や予防	92名	19%
心と脳の関係	118名	24%
今後の脳科学の展望	95名	20%
社会にどのような影響を与えるか	51名	11%
その他	10名	2%
未回答	2名	0%

「その他」の回答:

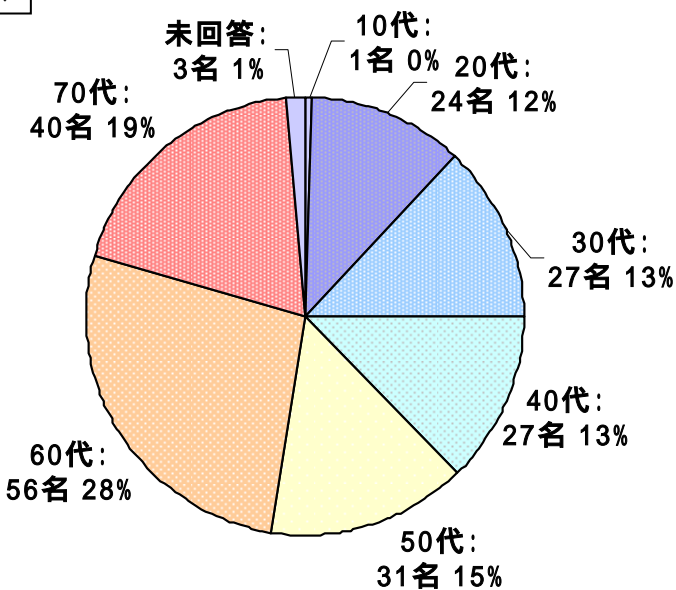
- ・脳の信号発生や受容のメカニズムについて
- ・社会科学と脳科学(例えばニューロエコノミクスやニューロマーケティングなどの話)
- ・「人の眠りとは?」「生活習慣は?」、神経劣化、統制劣化、身体劣化の特性と防護例について
- ・脳研究と倫理
- ・計算機による脳の代替
- ・原理的なところ
- ・教育と脳、安易な脳ブームへの警鐘
- ・脳の計測(アセスメント)
- ・いろいろな研究の講演に参加してみたい
- ・社会構造の変換について、自分に何ができるか?

7. 性別、年齢、ご職業について教えてください。

性別



年齢



職業

項目	人数	比率
中学生・高校生	0名	0%
大学生 医学系	5名	9%
理工学系	5名	
心理学系	7名	
教育系	0名	
その他	2名	
研究者・医者	59名	28%
企業勤務	52名	25%
病院・施設勤務	2名	1%
非営利団体	10名	5%
アルバイト・フリーター	2名	1%
主婦	7名	3%
その他	32名	15%
未回答	28名	13%

「その他」の回答:

- ・定年退職者、年金生活者(24名)
- ・公務員(1名)
- ・報道関係、ジャーナリスト(2名)
- ・自営業、自由業(5名)

## 8. ご意見、ご要望

### ご感想

- ・興味深い内容でよかった。勉強になった、参考になった。(12)
- ・講演内容が良かった。わかりやすかった。(8)
- ・非常に重要なプログラムだと思う。もっと積極的に推進してもらいたい。(5)
- ・このような高度な内容のシンポが無料で公開ということにびっくりしました。
- ・成人の脳のみでなく、小児(発達中)の脳にも興味があります。
- ・政治家の挨拶が非常によかった。
- ・良い企画でした。医学、工学、基礎がよくmergeしている。
- ・駅に近い場所、階段式の席、昼食をはさまない時間帯がよかった。
- ・電気的な信号が脳情報制御で最も効果的であり、実用化が進められていることがわかりました。情報はMRIでもありましたが、制御の方は化学物質による電位変化などの方法もあるかもしれないと思いました。分子論的な基礎分野の発展も楽しみです。
- ・私は基礎研究の補助員という立場にありますが、講演者の研究の一助になり、またいずれ研究に直に携われるようになりたいとますます意思を固めました。
- ・プログラムの企画がよかったですだけでなく、各演者の話し方が理路整然として、サイエンスの真髄と醍醐味を語っていた。大成功のシンポジウムだったと感じる。
- ・現状認識として社会では「個」が突出する現状であり、社会全体の未来の心理をどう描けばよいだらうか。個人や小グループの活動と社会システムの方向性でどんなデザインになるか。(世界全体にも関係するが、地域全体や国内でイメージしたい)

### ご要望・ご提言

#### <シンポジウムの内容・運営について>

- ・もっとゆっくり話して、専門用語を使わず図解・実例などを用いてわかりやすく説明してほしい。(6)
- ・これからも講演を続けて下さい。(6)
- ・各講演内容をHPなどで読むことができるようにしてもらいたい。(5)
- ・講演の時間、質疑応答の時間をもっと長くしてほしい。(3)
- ・会場と座席がせまい。会場内が暗い。(3)
- ・うつ病に興味があるので、発症のメカニズムや現在行われている治療などについて講演してほしい。(2)
- ・写真撮影を控えるようアナウンスしてもらいたかった。(2)
- ・文科省の取り組みの上で欠けていたのは、研究と社会的な貢献のインターフェースをもっと積極的に国民に伝えることではないでしょうか。特に若い方に伝えることが大切だと思います。(2)
- ・素人向けで分かりやすいが、もう少し専門的な話もあっていいのでは。
- ・本日は脳の病の話が多かったが、脳における情報処理やクオリアの解明にも期待したい。
- ・こういうアンケートは帰宅後数日経ってからFAXで送信してもいいようにしてほしい。
- ・脳科学の進展を社会側が見守っていく視点、国際的な動向などについても触れていただきたかった。
- ・BMIや再生医療に関心、というより切実な状況を経験している者です。特に神経を冒され、正常に機能しなくなった器官の再生(リハビリ)に関する研究、実用化を期待しています。事業仕分けへの対応のためにも、研究の必要性和意義をわかりやすく説明する努力をお願いします。
- ・この分野のノーベル賞受賞者の内容や科学進歩のグローバル化を織り込んだ内容を聞きたい。
- ・今後も色々な研究を社会へ発信していただきたい。
- ・構成がすぐれている。いきなり第2部の内容から始めた方が興味は増したかもしれないが、1970年代からの時代変化を土台に理解しないとトピックスにとびつくだけに終わる危険がある。それにしても研究発展のスピードの速さに驚いた。
- ・講演者に関する書籍、内容に関連する書籍の販売を検討してほしい。
- ・可能ならば関西を含め、全国で行ってほしい。
- ・教育課程との関係について講演いただくとありがたい。非常に困難とは思いますが、現状解析でもよい。

#### <脳プロの活動について>

- ・OECD調査で乳幼児期への教育投資が最も効果が高いことが分かってきていると思いますので、今後、脳科学による発達の解明を早急に進め、社会への還元(スウェーデンのように1才から教育)されることを期待します。
- ・役に立つ脳科学、脳科学者のネットワーク作りで「思い込み」の除去と作業の効率化を。
- ・精神疾患についての研究の進展に期待しております。
- ・医療、福祉の面で大変すばらしい成果が上がっていることがよくわかりました。しかしその一方で、お金のためには何でもやるという現代社会の状況を見ていると、この種の技術が悪用される恐れは多分にあると思います。影響力が大きいのでちゃんと考えなければ技術の使われ様によってとんでもないことになるのではないのでしょうか。
- ・人をモルモットにしないでください。そのような研究室を使わないでください。この方向ではノーベル賞をとるような研究はできないと思った。
- ・研究が研究のためだけではなく臨床的応用が必須であることを意識し、税金を使っていることを常に念頭に置いてほしい。

アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。皆様からのご要望・ご提言をよく検討いたしまして、今後の活動に活用させていただきます。第3回公開シンポジウムは平成23年2月5日(土)に開催を予定しております。詳細は随時HPに掲載してまいりますので、来年度のシンポジウムも宜しくお願い申し上げます。

脳プロHP <http://brainprogram.mext.go.jp/>